

【実践内容】

1、実際に予定の変更を聞いて、聞く時に気を付けていることを出し合う。

①「来週の予定を変更します。・・・」

◎連絡帳にメモを取る子

手にメモをする子

メモを取らず真剣に聞く子

ぼーっと聞く子

○話を聞く時に気を付けていること

・話をする人の方を向く

・最後までしっかり聞く

・大切なことはメモをする など

(知的好奇心)

“予定の変更”という内容にし、聞かないと困る状況でスタートした。

2、1で出したことを意識し、メモを取りながら聞く。

3、どのようにメモを取ったか隣同士で見合い、良いところを出し合う。(メモの取り方)

・記号を使っていて分かりやすい

・短く大切なことだけが書いてある

・言われたことが順番に整理してメモがしてある

3、話す人に注目をさせ、分かりやすく伝えるためにどのように話をしているかを出し合う。

①「来週の予定を変更します。・・・」

○分かりやすく伝えるための話し方

・ゆっくり話している

・はっきり話している

・詳しく説明している

・大切なところを強調している など

4、「話す・聞く」を意識して、教師が用意した内容を伝言する。

・話し手と聞き手を交代して行い、どちらも経験できるようにする。

・伝言しようとする意欲や数多く経験することを重視するようにする。

(知的好奇心)

正しく伝わらない経験から、どうしたら正しく伝えられるのか考える

5、伝言した感想を話し合う。

・しっかり伝えたつもりがちゃんと伝わってなかった。

・相手がメモしやすいうちにゆっくり話をしたのでちゃんと伝わった。

・メモしながら聞くのは大変だった。

※次の時間は、正しく伝言をするために気をつけることについて考える。

【知的好奇心について】

この単元で知的好奇心として考えている部分は、「正しく伝える」ある。そのためには、正確に聞き取ることが大切になってくる。まずは、「聞かないと・・・」という思いが持てるようにした。また、伝言を「聞く」「伝える」経験を多くさせ、「正しく伝わらないのはなぜだろう?」「どうしたら正しく伝えられるのだろうか?」と思うことが学習のきっかけになるように計画をした。

【反省】

○生活に密着した内容を聞くことからスタートしたことにより、「聞く」ことに特に意識をして学習を進めることができた。

○聞く活動を多く取り入れたことにより、もっと伝言したいという意欲を持たすことができた。

●聞くことに重点を置いて授業を進めたため本時では、伝える側はメモをそのまま読み上げ、分かりやすく丁寧に伝えることができていなかった。

●メモの取り方は、分かりやすく簡単にまとめるのが苦手と言われたことを全部書いてしまう子が数名いた。よいメモの例を常に掲示したり、メモ用紙を工夫したりして準備しておくとうよかったと思う。